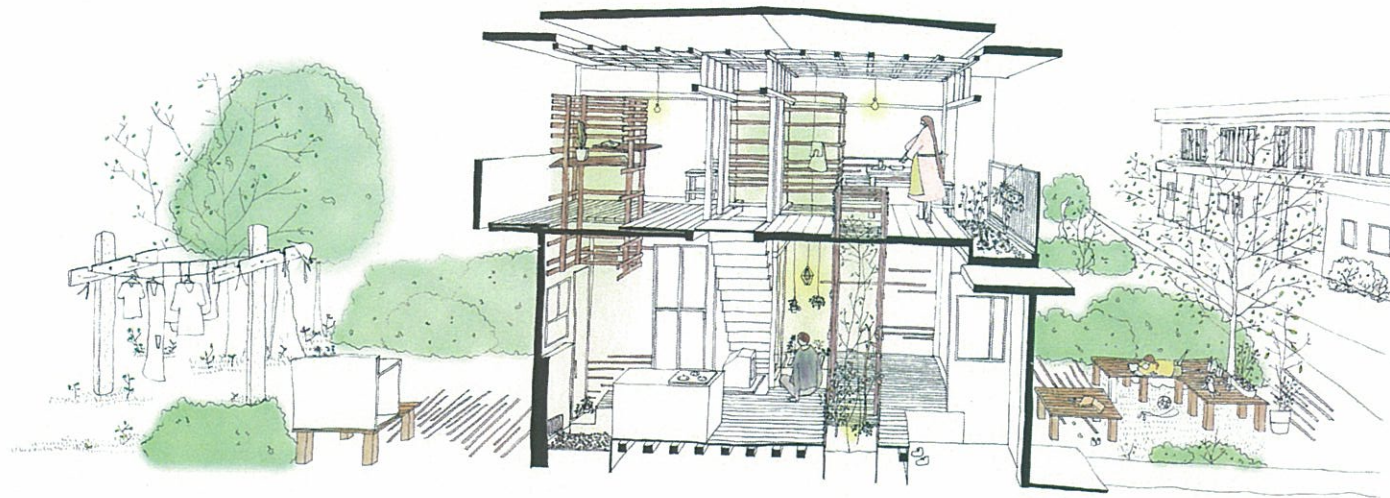


16-5 naka-one project

大阪大学

出来佑也(代表) 中村太一(代表) 柏木俊弥 栗本絢子 向阪真理子
中安智子 有森輝紀 上恭子 豊村幸毅 安井さおり 辻本知夏 出口加奈子 麥谷隆之 山上裕之 山田佑亮
元木洗介 中野舞 中井千尋 永井裕太 内田彩香 江藤道子 藤井郁 水上和哉 山内清史 山本敦子 一色暁生 岡崎沙織 山出翔太 永井仙太郎 渡辺智也 濱野真由美 福井美弥 鳥居剛太郎 高橋彰



コンセプト

中宮第一団地 16 号棟は南北を庭に挟まれたテラスハウスであり、接地しているので、外部空間が住戸のすぐ近くににあります。私たちは今回の改修プロジェクトにあたり、「外部が近い」というこの団地ならではの特性を最大限引き出し、新しく住空間をつくりたいと考えました。

そこで、

- 2 階の大きな開口から建具を取り払い、「外部」を大きく室内に取り入れる
 - 2 階の床を部分的に抜いて吹き抜けをつくり、取り込んだ流れを1階に流し込む
 - 1 階の床に2階で床を抜いた部分を投影。その部分の床を抜き、室内にある「外部」となる
 - 抜いた床が流れによって押し出され、外部に内部の生活空間があふれ出してデッキができる
- という流れをイメージし空間をつくりました。

flowing frame

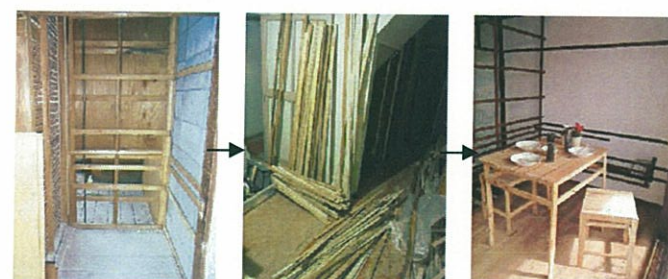
flowing frame は、2 階から取り込んで1階へと向かう流れを表現するものです。吹き抜け部分のグラデーションは縦方向の動きを流動的に表現し、同時に手すりとしての役割を果たします。また、室内の棚などもこれを用いてデザインしました。

plus minus "zero"

私たちは、解体作業の中で出てきた廃材を使ってインテリアや flowing frame をつくりました。つまり改修前後でプラスマイナスゼロとなっています。このことでこの団地、この部屋ならではの雰囲気を残しそれを感じてもらえればと思っています。

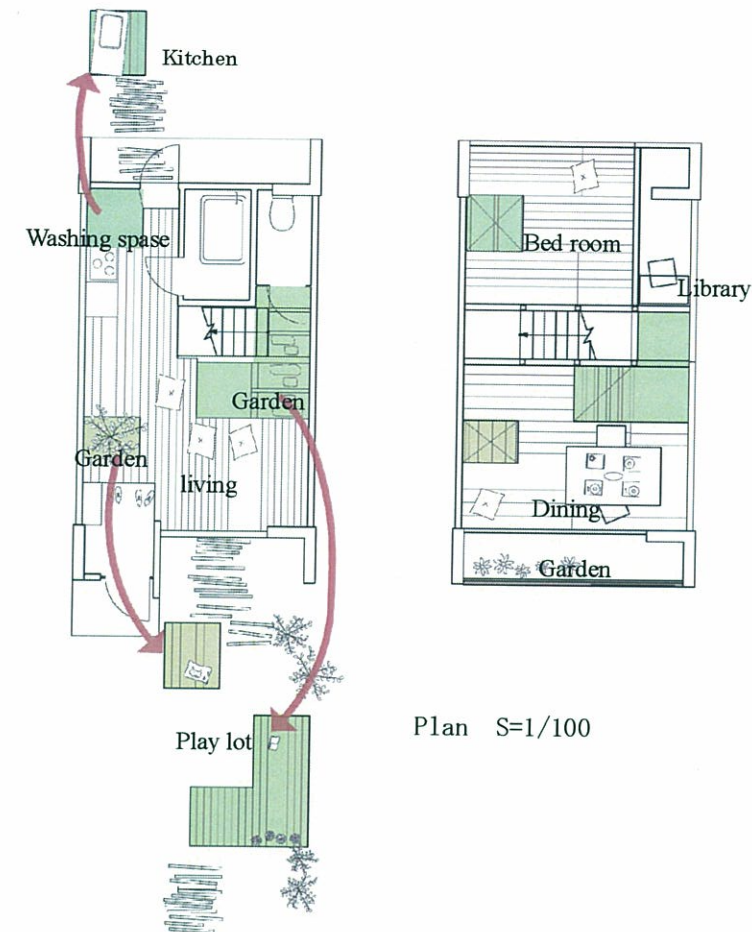


Flowing frame



廃材利用の流れ

NAKAMIYADAIICHI housing complex reproduction project



Plan S=1/100

想定家族構成
20 代後半夫婦と5 歳女の子

左図の緑の部分が「内部にできた外部」あるいは「外部に飛び出した内部の床(デッキ)」部分です。この空間に若い家族が住むことを想定しています。

・台所が外に飛び出し、室内には砂利が敷かれた洗える洗い場ができました。

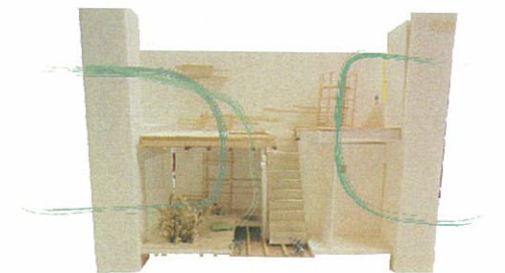
・リビングは周囲を室内にできた庭と外部空間に囲まれたこの部屋の中心的空間になっています。

・前庭にできたデッキは子供の遊び場として広がり、リビングの延長として使うことができます。

・2 階南側のダイニングには吹き抜けを通して下から木が顔を出します。ベランダも土を入れ小さな庭としました。

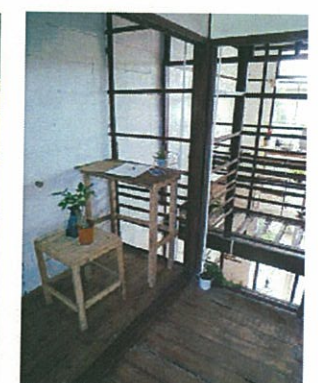
・2 階北側は寝室です。押入れであった部分は書斎としました。

このように外部からの流れを意識し、内部と外部が混じり合った空間構成を目指しました。



外部の流れのイメージ

完成写真



■合計人数 180 人
■総日数 40 日
■総計時間 1080 h・人
■総費用 260137 円

NAKAMIYADAIICHI housing complex reproduction project







